



@ぶらぶらあぶらくらぶ



@チーちゃんサキちゃん



@74k1



@かいじゅう5479



@スイトリア



@かめき



@yokan

ふくおか

いきもの調査隊レポート  
2025 秋編



@麻太郎



@植渡元紀



@ドドード・ドード



@砂音



@sahya8



@ゆづら



@佐助丸

山、川、平地、干潟、海と様々な環境からなるまち、ふくおか。そんなふくおかにはどんないきものが生息しているのでしょうか。

その全貌を解き明かすべく、2025年10月18日から12月19日の間、福岡市内に生息・生育する動植物の写真をスマートフォンアプリ「Biome (バイオーム)」に投稿してもらうことで、福岡市内のいきものの発見情報を集めました。

## 調査結果！

発見した数

**5,630** 件

発見した種類

**1,471** 種類

参加者数

**471** 人



## 投稿の多かったいきものピックアップ！

**1**  
アオサギ  
ベリカン目サギ科 **113**件



@かせつさん

**2**  
クロガネモチ  
モチノキ目モチノキ科 **74**件



@ftnk

**3**  
トビ  
タカ目タカ科 **69**件



@三宅基裕

## 希少ないきものピックアップ！

福岡県RDB2024  
絶滅危惧IB類(EN)  
ホウロクシギ  
チドリ目シギ科



@birder-birder

福岡県RDB2024  
絶滅危惧II類(VU)  
ハマオモト  
キジカクシ目ヒガンバナ科



@wandano やま

福岡県RDB2024  
準絶滅危惧(NT)  
ツクシガモ  
カモ目カモ科



@muratahideo

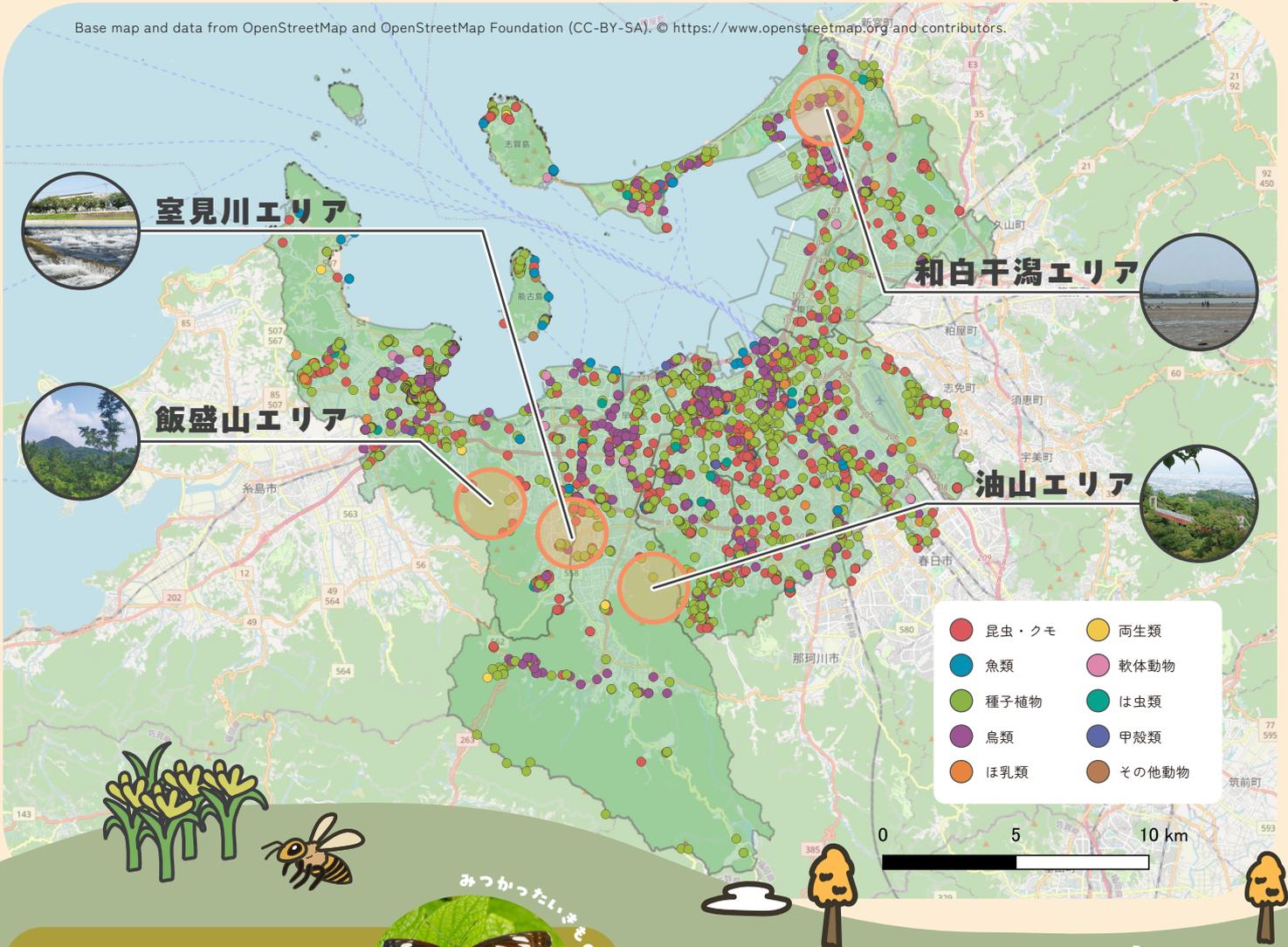




# ふくおかいきものマップ



Base map and data from OpenStreetMap and OpenStreetMap Foundation (CC-BY-SA). © <https://www.openstreetmap.org> and contributors.



## 飯盛山エリア



かなたけの里公園周辺を中心に、昆虫や植物の投稿が多く寄せられました。特に昆虫類が豊かで、チョウの仲間は9種、トンボの仲間は7種が報告されており、樹林や林縁を好む種も多く記録されています。里山の自然環境が色濃く残るエリアとして、多様ないきものたちの姿が確認されました。

## 和白干潟エリア



鳥類の投稿が71件36種と多く寄せられました。カモ類はもちろん、シギやチドリの仲間など、稀少な種も観察されています。そのほか、甲殻類の情報も寄せられ、干潟特有の多様ないきものたちが集まるエリアであることがわかりました。

## 油山エリア



油山市民の森周辺を中心に、植物や昆虫の投稿が多く寄せられました。特に植物は60種と非常に多くの種類が報告されており、色鮮やかな紅葉や、秋に実をつける植物など、四季の移ろいを感じさせる投稿が目立ちました。豊かな森林環境を活かし、多様な野草や樹木が観察できるエリアであることがわかります。

## 室見川エリア



全投稿のうちの半数を鳥類が占め、59件33種の鳥が記録されました。樹林に接する上流のダム周辺では、ヤマセミやミソサザイなど、渓流や樹林を好む種が多く発見されました。一方で、市街地を流れる下流から河口にかけては、カモ類やカモメ類、サギ類などの水鳥が中心となり、一本の川で環境の変化に応じた多様な鳥たちの姿が確認できました。

# 調査隊が発見！ 注目のいきもの

調査隊の発見報告のなかから、みなさんに知ってほしい注目の  
いきものをピックアップ！

## タヌキ

食肉目イヌ科



@たちばなゆかり

里山に暮らす哺乳類です。秋には冬越しに備えて果実や木の実をたくさん食べ脂肪を蓄えます。冬になると、厚い冬毛に包まれて丸々と膨らんだ姿が見られるようになります。

## チュウゴクアミガサハゴロモ

カメムシ目ハゴロモ科



@まっさ

中国原産の外来種で、2017年に大阪で国内初確認されて以来、日本各地へ生息域を広げている注目の昆虫です。在来のアミガサハゴロモに似ていますが、前翅の白い紋が明瞭なのが特徴です。

## タテハモドキ

チョウ目タテハチョウ科



@ANA 熊

翅にある大きな「目玉模様（眼状紋）」が特徴的なチョウで、良好な自然環境が残る里地里山の指標種とされています。かつては九州以南で見られましたが、近年は生息域を北上させています。

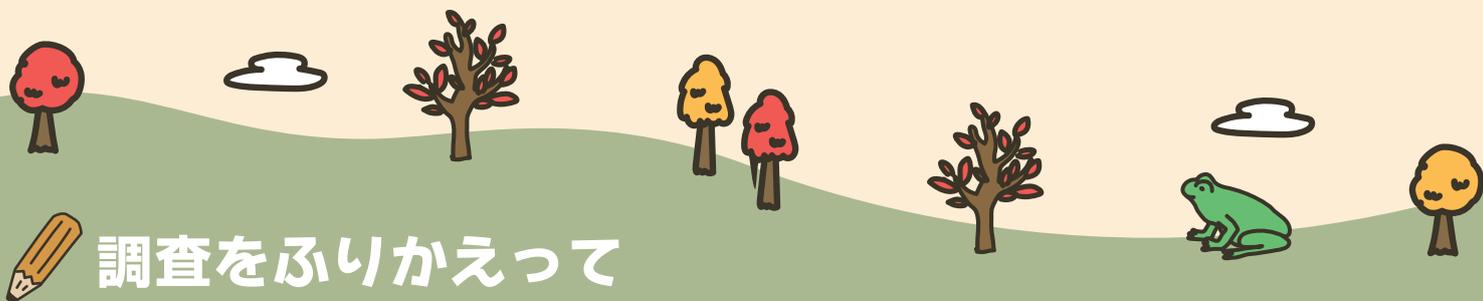
## シロバナサクラタデ

ナデシコ目タデ科



@subaru1250

秋にサクラのような形の小さな白い花を、穂状にたくさん咲かせるタデ科の多年草です。湿り気のある場所を好み、水辺や湿地で見ることができます。サクラタデより花が小さく、花弁が白い点で識別できます。



## 調査をふりかえって

今回もっとも多く報告された分類は「植物」で、次いで「昆虫」「鳥類」が続きました。秋ならではの特徴として、果実をつけた植物や、バッタ類などの写真が投稿されました。また、油山や飯盛山などの山地エリアからの情報も多く寄せられ、調査データが一層充実したものとなりました。

今回の調査を通じて、1,000種を超える多種多様ないきものが、私たちの身近な環境で暮らしていることが改めて可視化されました。これらのいきものたちとこれからも共に生きていくため、福岡市は市民のみなさんや各種団体、企業と協力し、ネイチャーポジティブの実現に向けてさらに歩みを進めていきます。



生物多様性ふくおかセンター

<https://seibutsutayousei.city.fukuoka.lg.jp/>

生物多様性を楽しく学べるウェブサイトがオープン！ふくおかゆかりのいきものや、今日からできる保全アクションなどを紹介しています。今回の調査結果はもちろん、福岡市内の各種イベント情報も要チェックです。

